

# 2022小型OLEDディスプレイ半期レポート

Chief Analyst  
Dr. Choong Hoon YI

Analyst  
Dae Jeong YOON  
Jun Ho KIM

1. キーサマリー .....	5
2. 小型OLED産業課題分 .....	7
2.1 Micro-OLED関連開発動向	
2.2 中国6GフレキシブルOLEDライン再編可能性	
2.3 サムスンディスプレイのRigid OLED出荷量の低下	
3. 小型OLED産業分析 .....	16
3.1 OLEDウォッチトレンド分析	
3.2 ウォッチ用OLED展示動向分析	
3.3 OLEDスマートフォントレンド分析	
3.4 フォルダブルフォントrend分析	
3.5 パネルメーカー別フォルダブルOLED事業と展示動向	

<b>4. 小型OLED量産キャパ分析と展望 .....</b>	<b>64</b>
4.1 総量産キャパ分析と投資視点分析	
4.2 量産キャパ展望	
4.3 企業別量産キャパ展望	
4.4 世代別量産キャパ展望	
4.5 基板別量産キャパ展望	
4.6 国別量産キャパ展望	
4.7 メーカー別小型OLED量産ラインの現状	
<b>5. 半期別OLED市場実績分析 .....</b>	<b>96</b>
5.1 小型OLED全体の実績分析	
5.2 企業別小型OLED実績分析	
5.3 アプリケーション別OLED実績分析	
5.4 基板別OLED実績分析	
5.5 国別OLED実績分析	
5.6 スマートフォンとフォルダブルフォンのOLED実績分析	
5.7 企業別スマートフォン用OLED実績分析	
5.8 スマートフォン用OLEDの基板別実績分析	
5.9 ウォッチ用のOLED実績分析	

<b>6. 四半期ごとのOLEDパフォーマンス分析</b> .....	<b>131</b>
6.1 全体的な業績分析	
6.2 企業別の業績分析	
6.3 アプリケーション別の業績分析	
6.4 スマートフォン用とフォルダブルフォン用OLED実績分析	
6.5 ウォッチ用OLED実績分析	
<b>7. スマートフォン用OLED需要供給分析</b> .....	<b>173</b>
7.1 年別スマートフォン用OLED需要供給分析	
7.2 四半期ごとのスマートフォン用OLED需要供給分析	
<b>8. OLED市場の見通し</b> .....	<b>176</b>
8.1 市場全体の見通し	
8.2 パネルメーカー別市場展望	
8.3 アプリケーション別市場予測	
8.4 国別市場の見通し	

## 2. 小型OLED産業課題分析

### 2.1 Micro-OLED関連開発動向

#### ■ LGディスプレイ

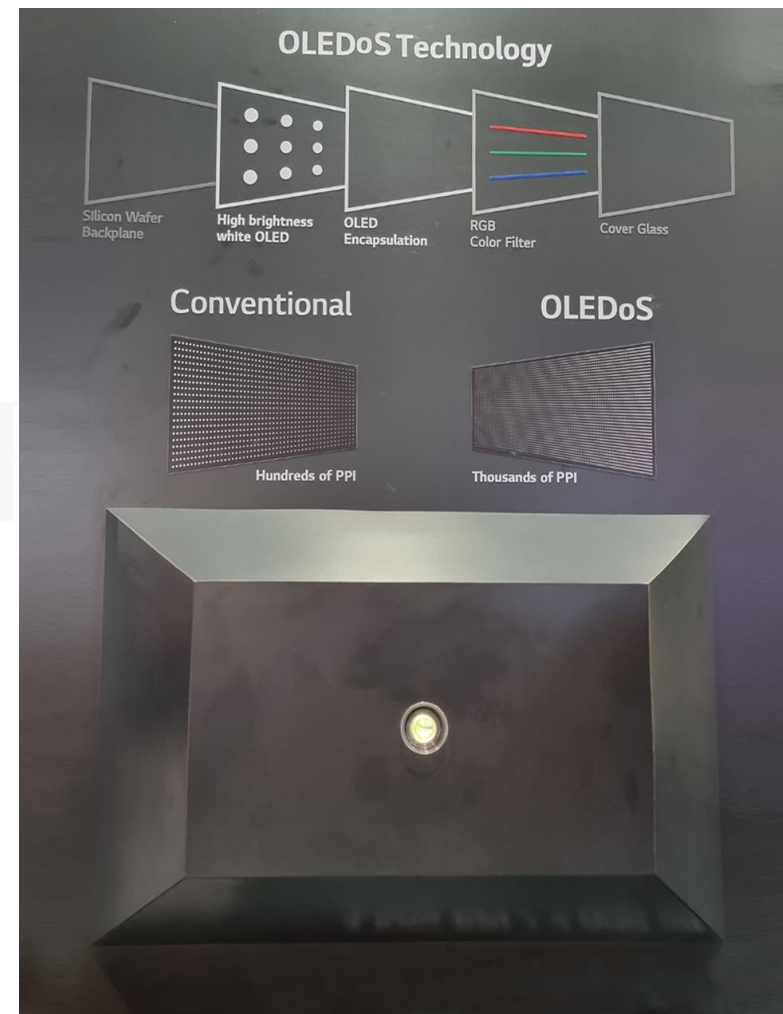
- 麻谷に位置するR&Dラインでmicro-OLEDを開発中で、SID 2022でOLEDoSという名前で製品を展示した。
- メタバス市場の成長性を肯定的に見ており、METAとAppleとの戦略的な関係を構築する計画を立てている。
- LGDは2025年に量産を目標にライン投資を検討中であり、\*\*\*\* \*\*基準\*\*K/月規模の投資を進めた後、最大\*\*K/月規模まで増設を計画している。
- \*\*\* \*\*は\*\*\* \*\*から供給されると予想される。

年ごとのLGディスプレイのOLEDoS性能

Year	2020	2021	2022
Size [inch]	0.42	→	→
Resolution	1280 x 720	→	→
ppi	3,500	→	→
Brightness [nit]	4,000	5,000	7,000
Color gamut [%]	97 @DCI-P3	→	→
Feature	- Real RGB	- Real RGB	- Real RGB - Sub-pixel size: 2.42 x 7.26 $\mu\text{m}^2$ - Refresh rate: 120 Hz

Source: UBI Research

SID 2022でLGディスプレイが展示したmicro-OLED



Source: LG Display

# 3. 小型OLED産業分析

## 3.5 パネルメーカー別フォルダブルOLED事業と展示動向

### BOE

- Honor向けとしては「Magic V」の後継モデル用に2つのパネルを開発中である。
- 最初の開発パネルは前作と同じ形で\*\*インチ\*\*タイプのフォルダブルOLEDであり、\*\*\*\*が供給するUTGが適用されると予想される。
- \*\*\*\*では\*\*\*\*のガラスのみを使用したか、BOEの要請で\*\*\*\*のガラスも同様に使用している。
- 2022年下半期の量産目標であり、物量は\*\*万台程度になると予想される。
- 2番目の開発パネルは\*\*\*\*タイプで、サイズは\*\*インチ、カバーウィンドウは\*\*\*\*で加工した\*\*が使用されると予想される。
- 量産目標日程は2022年下半期であり、物量は\*\*万台と予想される。

BOEが開発中のフォルダブルOLED

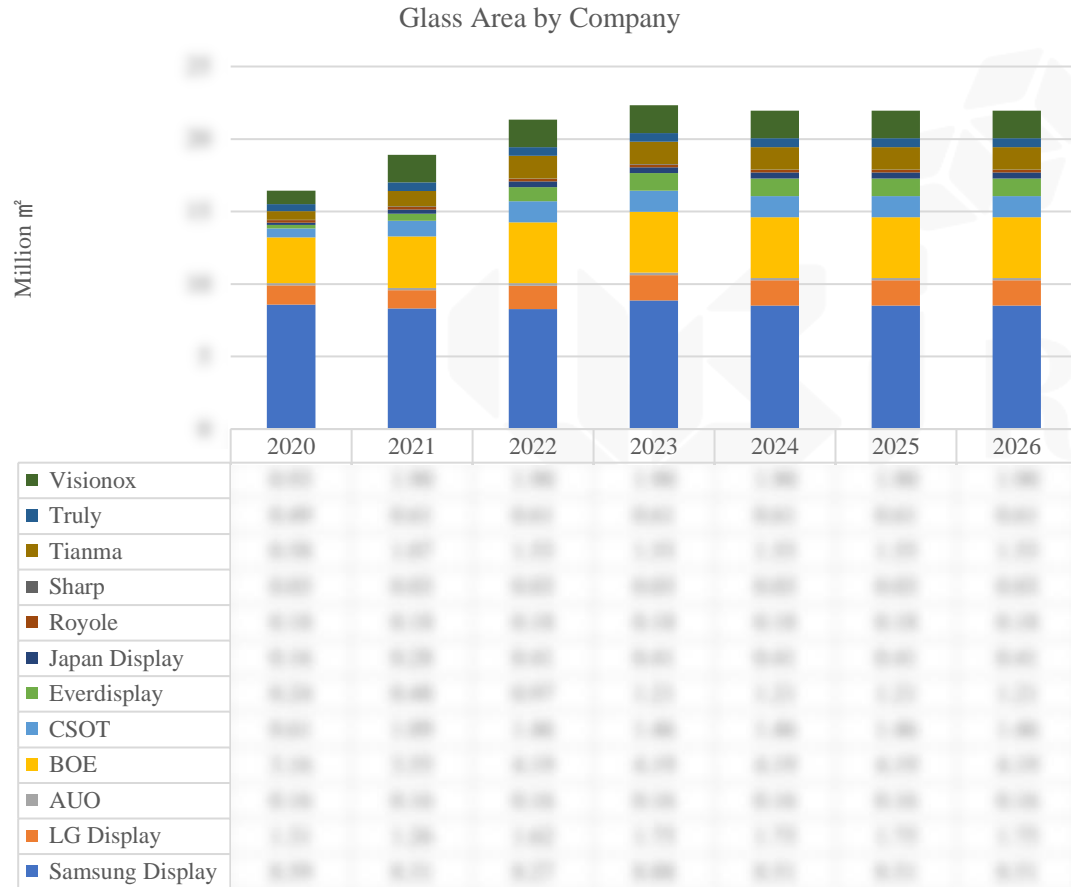
Set company	Folding type	Size [inch]	MP Target	Cover window	Note
Huawei	In-Folding	6.5	4000	-	Stage 1 series, Gen 2.0
Huawei	In-Folding	7.8	4000	-	For Stage 1 series
Oppo	In-Folding	-	4000	-	-
Oppo	Out-Folding	10.5	-	UTG	Research and Development project
Honor	In-Folding	7.8	4000	UTG	For Stage 1 series
Honor	In-Folding	6.5	4000	UTG	For Stage 1 series, Gen 2.0

Source: UBI Research DB

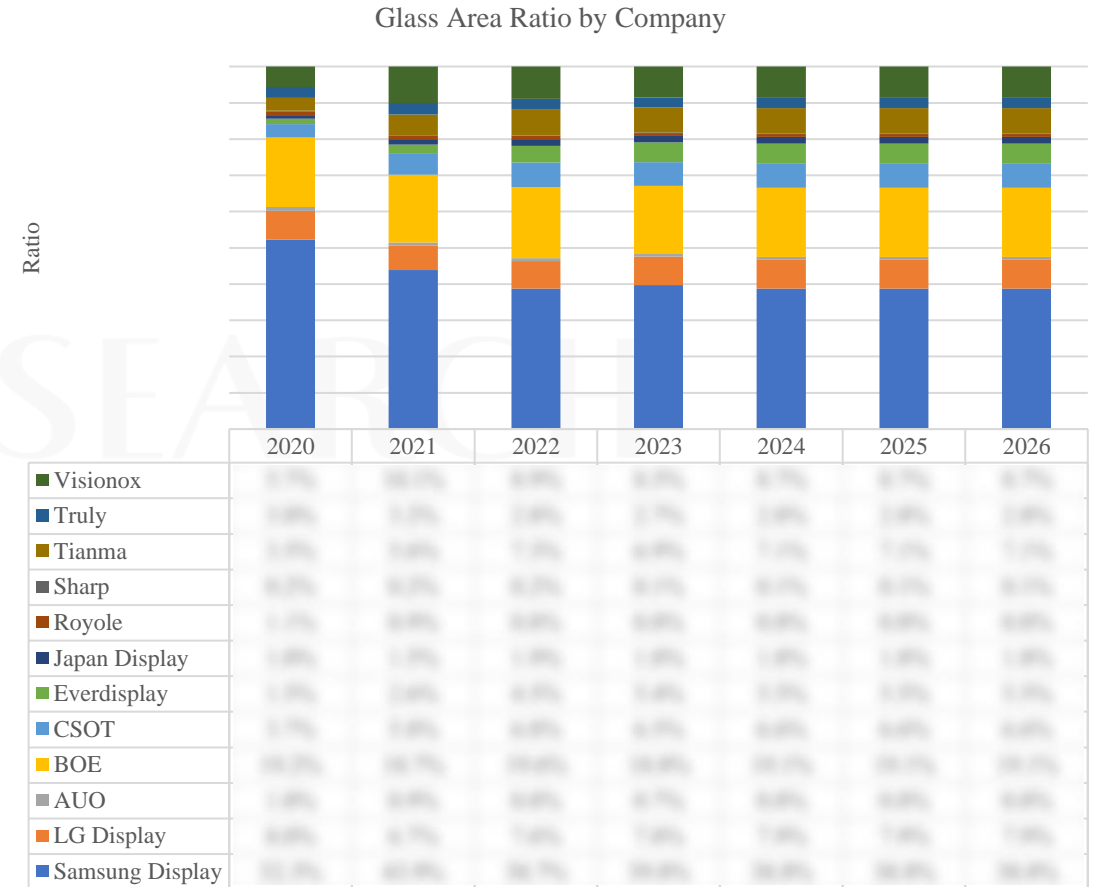
# 4. 小型OLED量産キャパ分析と展望

## 4.3 企業別量産キャパ展望

### 年度別量産キャパ展望



© 2022 UBI Research



© 2022 UBI Research

# 4. 小型OLED量産キャパ分析と展望

## 4.7 メーカー別小型OLED量産ラインの現状

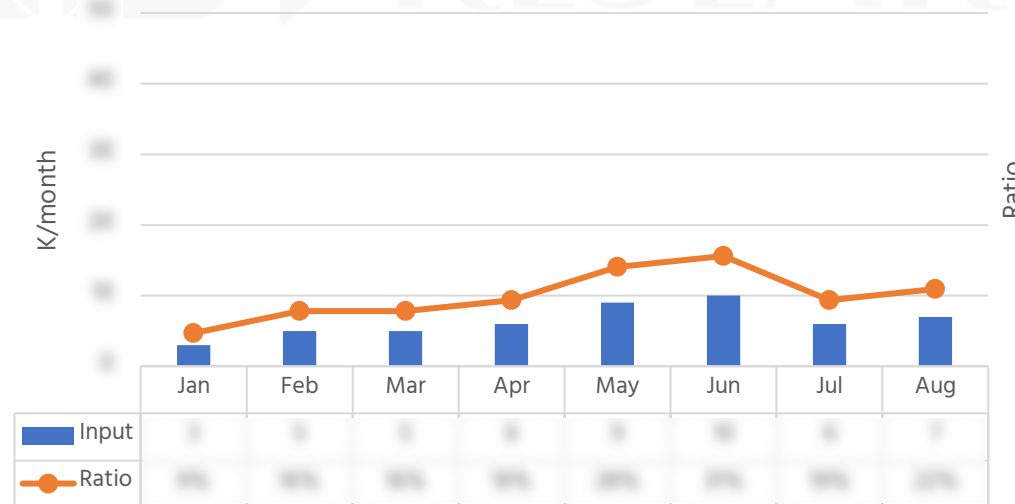
### BOE

#### [B12 Chongqing(6G)]

- Ph-1は\*\*\*\*向けにラインが稼働する予定だったが、他社との競争深化によりプロジェクトが中断され、これにより稼働率は低い状況だ。
- Ph-2は装備のセットアップが完了し、\*\*\*\*から始産に入った。
- Ph-3は\*\*\*用の\*\*\* \*\*\*\*\*ライン構成を計画している。
- \*\*K/月基準で2022年8月まで、B12の月平均稼働率は\*\*\*と分析された。

2022年 BOEのB12ライン稼働率

Operating ratio of BOE B12



Source: UBI Research DB

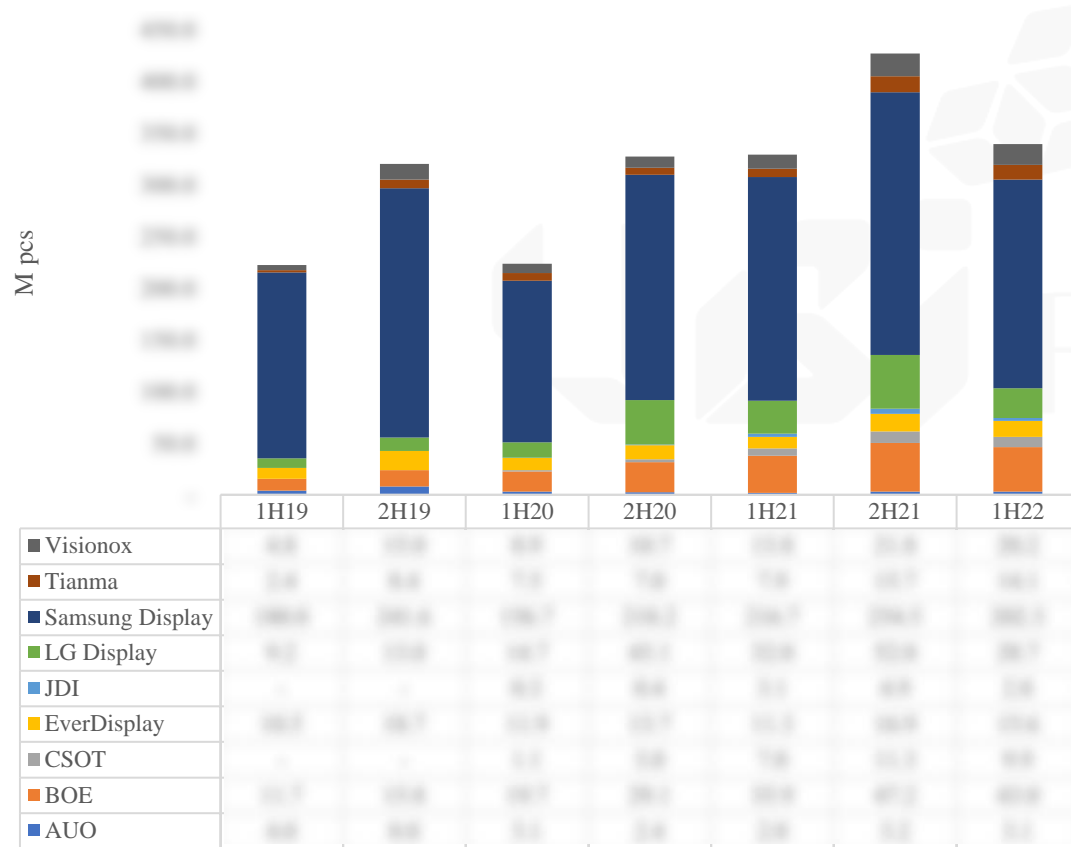


# 5. 半期別OLED市場実績分析

## 5.2 企業別小型OLED実績分析

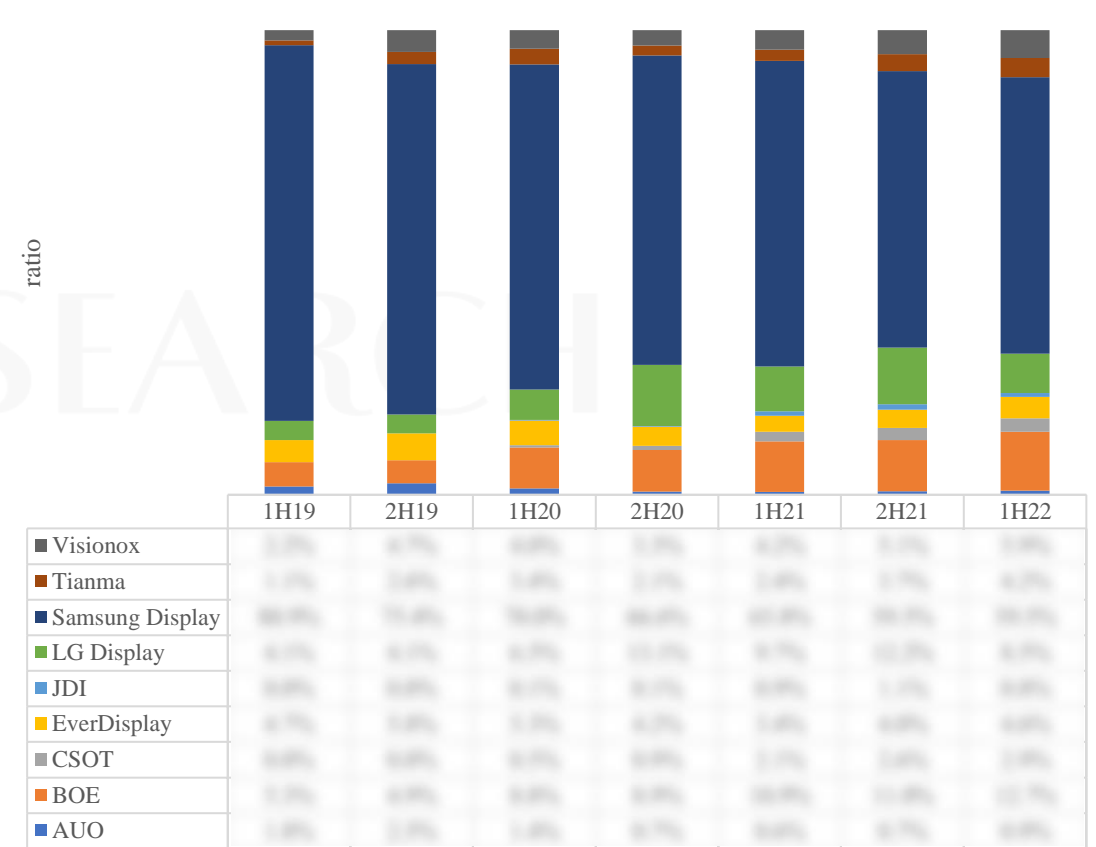
### 半期別出荷量分析

Semi-annual shipments by company



@2022 UBI Research

Semi-annual shipments ratio by company



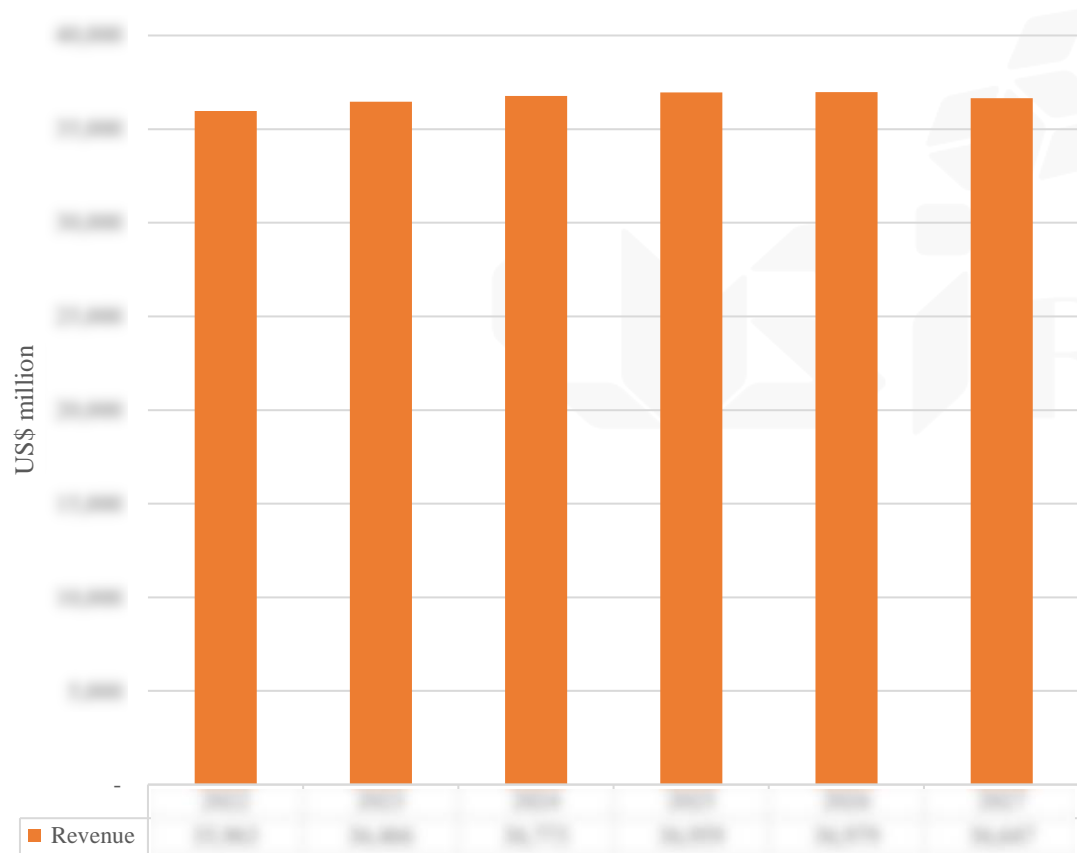
@2022 UBI Research

# 8. OLED市場の見通し

## 8.1 市場全体の見通し

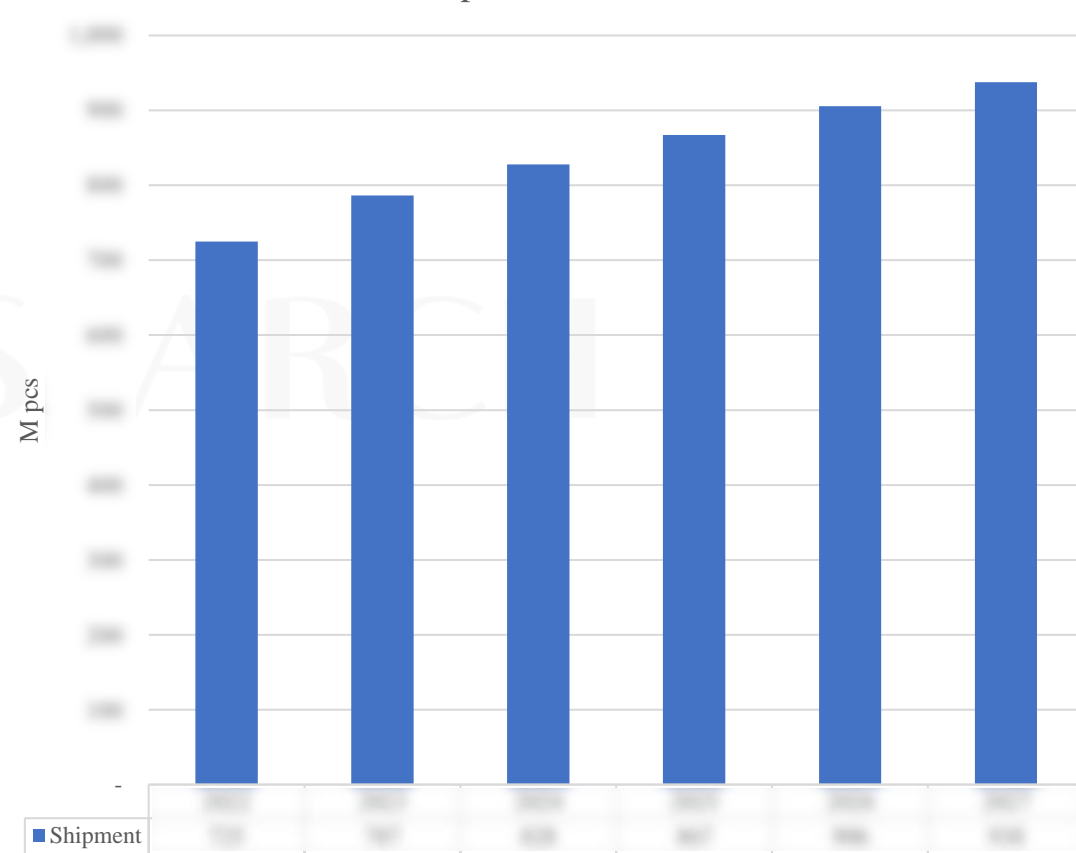
### 売上高と出荷量の見通し

Revenue forecast



@2022 UBI Research

Shipment forecast



@2022 UBI Research